

令和2年度 アドミッション・オフィス入学試験
試験問題

9時00分 ——— 11時00分

地域デザイン科学部志願者（建築都市デザイン学科）

造 形 実 技

〔注意〕

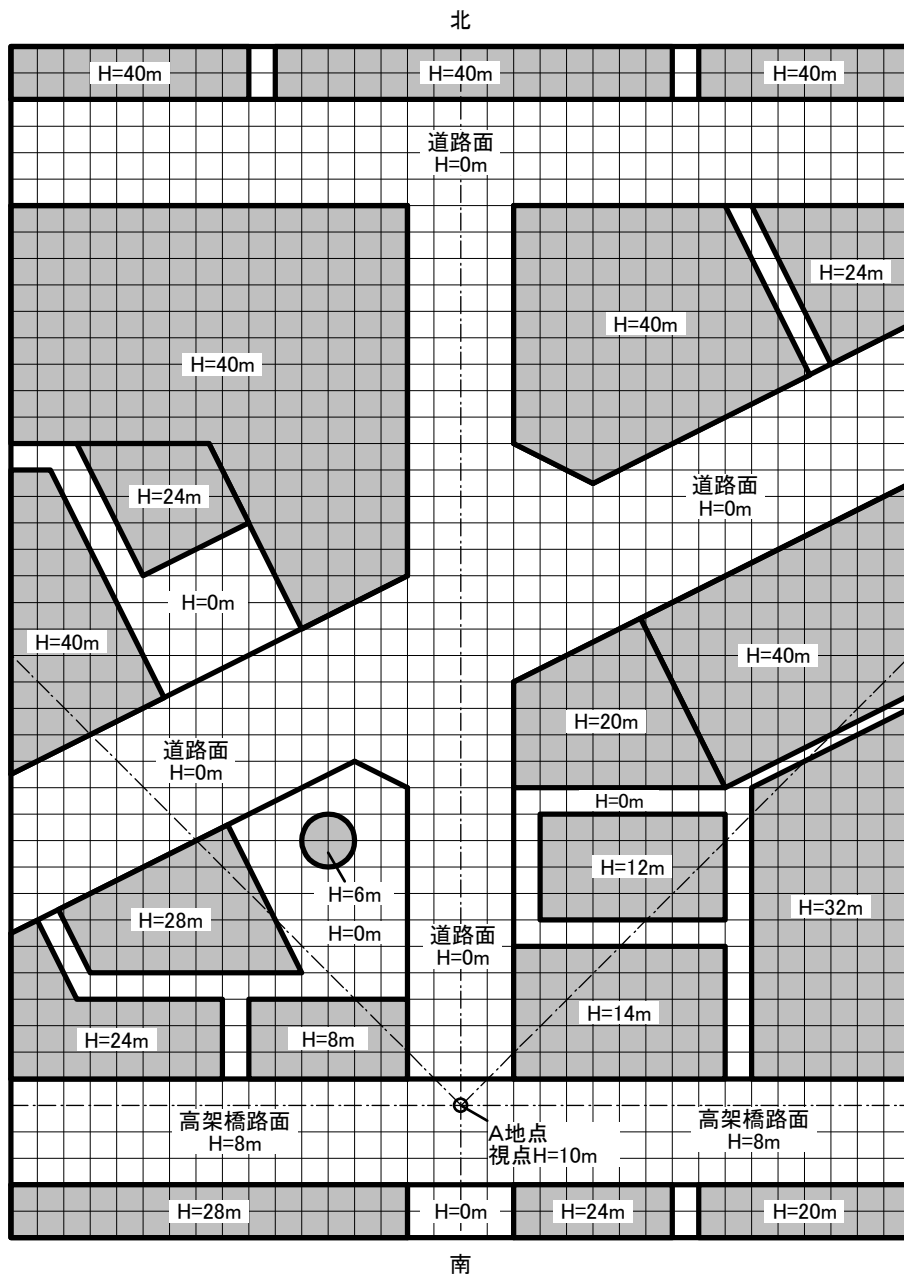
1. 開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 解答用紙は2枚ある。「受験番号」は、各々の解答用紙の受験番号欄に忘れずに記入すること。
3. この冊子には問題が2つある。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合は、申し出ること。
4. 解答は、必ず解答用紙の所定の枠内に記入すること。所定の枠外に記入したものは無効である。第1問は解答用紙（その1）に、第2問は解答用紙（その2）に解答すること。
5. 黒鉛筆および消しゴムは貸与のものを使用すること。
6. 貸与された黒鉛筆および消しゴムは持ち帰らないこと。

第1問

次のページの図は、都市の中心街区の地図である。この街区を高架橋の上のA地点から北の水平方向を眺めたときに、見える風景（道路と建物の外形線）を描きなさい。ただし、下記の条件を満たすこととする。

条 件

- ① 上下左右各45度の範囲の視野について、解答用紙の枠内いっぱい描くこと。
- ② 解答用紙には、視線方向の水平線・垂直線と道路の位置を示す補助線が入っている。
この補助線に合うように描くこと。
- ③ 歩行者・自動車・街路樹等、図面に示されていない要素は描かないこと。
- ④ 定規・コンパスの類は用いず、解答用紙に黒鉛筆を使って描くこと。



- ※ 方眼は2m間隔を表す(ひとマスが2m×2m)。
- ※ 灰色の網掛け部分は建物の屋根面である。
- ※ H は道路面からの高さを示す。
- ※ 屋根面および道路面はすべて水平とする。

第2問

U大学の正門に、新たに門柱を建設することになった。新たな門柱は、U大学の「地域の持続的な発展に関する教育・研究・地域貢献を推進することによって、豊かな生活の実現に貢献する」という基本理念を象徴するデザインとし、鉄、木材、石材、コンクリート、ガラス、プラスチックのうち3種類以上の材料を使用して建設する計画である。

この計画にふさわしい門柱を提案し、下記の条件に従って、解答用紙の指定された枠内に大きく描きなさい。また、デザインの意図および使用材料との関連を指定されたマス目内に述べなさい。

条 件

- ① 正門の左右に門柱があり、その間隔（通行幅）は5mである。各々の門柱は、高さ3m、幅1m、奥行き1mとする。左右の門柱を異なったデザインにしてもよい。
- ② 左右の2つの門柱が入る構図で描くこと。正面から見た構図に限らず、斜めから見た構図にしてもよい。
- ③ 歩行者、自転車、日射による陰影を描くこと。
- ④ 定規、コンパスの類は用いず、黒鉛筆のみを使用して、門柱に使用する材料の質感および立体感を表現すること。